

広報
しずみ

11

IZUMI city public relations

NOVEMBER 2011

特集

NO.635

森をつくる





特集

つくる森を

【今月の表紙写真】

タイトル：
和泉シティプラザの
螺旋階段
撮影者：竹澤泰三
撮影日：
平成23年8月1日
(2011年)



和泉中央付近を散策していると和泉シティプラザの建築美が目に入った。

和泉シティプラザの建物内に入ると、通常の階段とは違う螺旋状の階段があり、楽しみながら螺旋階段を最上階まで昇った。

下を覗き込むと、美しい造形が目に入り、持っていたカメラでシャッターを切ろうと思うが、なかなか思うようにできない。両腕を伸ばしながらシャッターを切るのがやっとのことだった。

今思えば、その時、他のカメラ機材を持っていれば「もっと最高のシャッターを切ることができたのでは」と残念である。



森をつくる

いずみ市の森

市では、世界的に広まっている緑を守る運動や森を作るといった取り組みに着目し、植樹活動を行っています。植樹活動によって、温室効果ガスが削減されたり、地域の防災能力が高まったりして、健全な都市環境を作ることができます。

市は、公民協働で森づくりを推進する「いずみいのちの森事業」（いずみいのちの森実行委員会・勝野露観委員長）を平成22年度に立ち上げ、植樹活動を通じて地域の環境整備・うるおいのある緑豊かなまちづくりに取り組んでいます。

これまで、市内各地の公園や民有地にクスノキ・アラカシ・タブノキなど約8、700本の植樹を行いました。

今後も公民協働で多数の植樹を行い、緑豊かなまちづくり「いずみいのちの森事業」を進めていきます。

下写真：かぐらぎ公園（はつが野二丁目）での植樹祭の様子



Contents

森をつくる	2
市議会第3回定例会	6
ファームステイ・農の里	7
市立病院	8
高齢支援	9
ひゅーまんらいふ	10
消費者の窓	11
子育てスマイル情報	12
和泉市久保惣記念美術館	13
市史だより	14
ZUMI navi	15
ホットいずみ	31
相談あんない	32



「森づくり」から「人づくり」そして「まちづくり」へ



いづみいのちの森事業では、単に植樹活動を推進して森や緑を増やすことのみを目的とするのではなく、市民や市内企業の皆さんとともに公民協働で取り組むことこそが重要だと考えています。

公民協働による「森づくり」を通じて、行政や地域コミュニティなどにも積極的に参加できるような「人づくり」、そして、それが行政主体ではなく、市民主体による「まちづくり」につながるよう活動していきます。

いのちの森の効果とは？

地球の温暖化を防ぐ

樹木は光合成を行います。二酸化炭素を吸収し、それを自分の幹や枝に固定して成長します。森や緑を増やしていくことは地球の温暖化対策としても重要です。

また、森や緑が増えることで市街地などのヒートアイランド現象の緩和につながり、屋上緑化や壁面緑化などと併せて冷房などのエネルギー消費を抑制する効果があると言えます。

まちに潤いを与える

大阪は東京に比べて非常に緑が少ないと言われていいます。和泉市でも南部地域では自然豊かな山林が多くありますが、北部地域はけっして緑が多いまちとは言えません。

人口が集中する市街地に、より多くの緑をつくることで市民が安らぎ、潤いのある快適なまちづくりにつながっていきます。

災害を防ぐ

樹木は、生活騒音や車の騒音を防いだり、排気ガスやほこりを吸着するなど都市の環境を守る大変重要な役割を果たします。

また、火災が発生したときなど、庭の植木や生垣が火事の延焼を防いだり、大震災の際に家の倒壊を防いだり、防災面でも大変効果があります。



春日神社（三林町）の森



森をつくる



いずみいのちの森銀行に どんぐりを預けよう

山や公園などで集めたどんぐりを「いずみいのちの森銀行」に預けると、かわいいどんぐり通帳がもらえます。どんぐりが貯まると、いずみいのちの森グッズと交換できます。この銀行に集められたどんぐりは、みんなのいのちを守る「いずみいのちの森」の苗木の育成などに使われます。どんぐりから「いのち」について親子で考えるきっかけをつくりませんか。

※どんぐりの預入は1回50個から。年間1,000個まで



樹木苗木の配布

「いずみいのちの森事業」を推進するため、個人から企業・団体に至るまで民有地に少しでも緑や森が増えるよう樹木の苗木を無料配布（11月14日（月）から。数に限りあり）しています。詳しくは、市ホームページまたは公園緑地課へお問い合わせください。

問：公園緑地課 ☎ 99・8139

どんぐりを育てています



どんぐりから苗木へ

市内企業や小学校でもどんぐりから苗木を育てています。

市内企業では、事業所内で採れたどんぐりとイチヨウを苗木に育て、緑を増やす取り組みを行っています。

また、小学校では環境学習も兼ねてどんぐりから苗木を育てています。今年も市内の5小学校の児童が取り組むことになっています。



小学校で育てた苗木



市内の企業が取り組んでいる様子